

第55期 中央労働講座

6月6日、7日、8日



「全港湾第55期 中央労働講座級長としての総括」

全港湾第55期中央労働講座の級長として、参加された皆の気持ちをまとめて代弁させていただきます。まず、今回集結したメンバーは、強烈な個性と人を思いやる協調性を兼ね備えた最高の仲間でした。一見怖そうな人やおとなしそうな人、ふざけているのかなと思う人、実に多様性に富んだ人種が揃いました。職種の違いから考え方、価値観、物事への目線、あらゆる個性がそこにはありました。それでも、家族や仲間を思いやる気持ちは、みんな共通して非常に強いものを感じましたが、どなたも家族や仲間の話をしている時の目には、

力強さと優しさが宿っており、大変勉強させていただいた上に、衝撃的な刺激もいただきました。そんな我々はいま、偉大な先輩方が築き上げてきた伝統を守ることと同時に、新しい時代のニーズに応えなくてはならないという時代の変り目を迎えております。また、我が国がこの30年で失ってきたものを取り返し、希望があった頃の日本を思い出させ、それを知らない世代に光を見せるための運動作りも求められています。戦後間もない1946年から始まった全港湾が持ち続けている基本理念は、いつの時代においても置き去りにされるものではありません。そして、全港湾による港湾労働の統一を目指すという思いも未来永劫、我々に課された使命であります。全港湾綱領の結びに「確固たる責任感と強靱なる組織力を以て使命達成を期す。」とあるように、全港湾は日本及び国際社会において、運動の先頭に立ち続ける存在であることを求められています。我々は覚悟を決めなくてはなりません。第55期のメンバーは家族や仲間、関わる全ての人々、日本と国際社会の発展と魅力ある港湾労働の確立のため、誰もが希望を持ち明るい社会の中を自分らしく生きていける世界を作るために、労働者または日本国民として自分に課せられた使命を全うすることを誓います。

働の統一を目指すという思いも未来永劫、我々に課された使命であります。全港湾綱領の結びに「確固たる責任感と強靱なる組織力を以て使命達成を期す。」とあるように、全港湾は日本及び国際社会において、運動の先頭に立ち続ける存在であることを求められています。我々は覚悟を決めなくてはなりません。第55期のメンバーは家族や仲間、関わる全ての人々、日本と国際社会の発展と魅力ある港湾労働の確立のため、誰もが希望を持ち明るい社会の中を自分らしく生きていける世界を作るために、労働者または日本国民として自分に課せられた使命を全うすることを誓います。

全港湾東北地方ひたち支部
書記長 古内 厚志

第55期中央労働講座

実施要綱		
6月6日	6月7日	6月8日
7:00	朝食	朝食
9:00	「全国港湾の成り立ち」 講師：鈴木誠一（中央執行委員長）	講義全体のグループ討論
10:00	「労働基準法」 講師：島山昌悦（副執行委員長）	グループ討議発表 総評：鈴木誠一
11:00	朝食	閉講式
12:00	グループ討論	
13:00	レクリエーション	
14:00		
15:00	開講式、主催者あいさつ	
15:30	「組織運営について」 講師：鈴木誠一（副執行委員長）	
16:30	グループ討論	
17:00	休憩	休憩
18:00	夕食	夕食



「組織運営について」
講師 鈴木龍一 副執行委員長



「全国港湾の成り立ち」
講師 鈴木誠一 中央執行委員長



「労働基準法」
講師 島山昌悦 副執行委員長



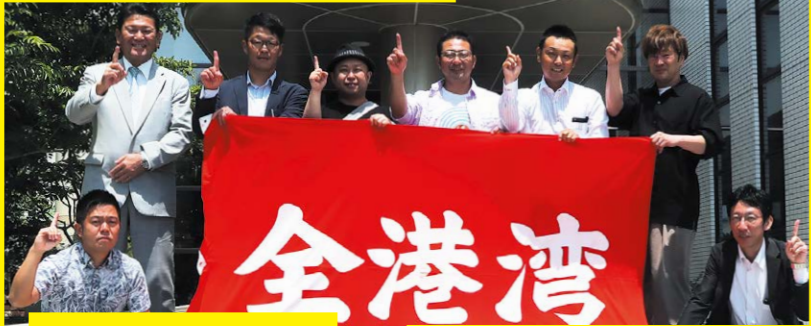
第0059号 2024年6月25日発行
全日本港湾労働組合 発行日：随時



1班

3班

全港灣 第55期中央勞働講座



4班



2班

